

# 国立高専生 就職先ランキング

企業名	採用数(うち女性)	17年
1 JR東海	80(9)	72
2 サントリーグループ※	66(18)	60
3 花王	65(18)	55
4 旭化成	60(7)	52
5 ダイキン工業	57(17)	53
6 三菱電機ビルテクノサービス	49(2)	52
7 中部電力	48(6)	43
関西電力	48(11)	46
JXTGエネルギー	48(6)	46
10 東京ガス	45(15)	41
メンバーズ	45(10)	31

※はグループ会社含む

# 若き才腕 本気で獲る

## 争奪戦 製造業以外も熱く

採用戦線は売り手市場が続いているが、中でも高等専門学校(高専)は求人倍率が20〜30倍にも達する激戦区だ。企業はあらゆる手を尽くして高専生に秋波を送る。優れた若き力が集まりゴールデンエイジとも言われる高専生。企業はいかに争奪戦を繰り広げているのか。「高専に任せる! 2018年就職先ランキング」を読み解く。

## 高専に任せる! 2018

イメージがあるが、実は生産・技術系採用の半数以上を高専出身者が占める。採用を担うサントリーホールディングスの部署名は、その名も「MONOZUKURI本部」。モノづくりの司令塔だ。高専は5年制。就活は4年生の夏のインターンシップ(就業体験)から始まり、5年生の春には教授と相談して志望を固める。その後は理系の大学生と同様に学校から推薦を得たり、エントリーして選考を受けたりする。

### 5日間就業体験

サントリーは夏休みに5日間のインターンシップを実施。高専生はビル、スピリッツ、清涼飲料の各事業会社とする「モノづくり」とは遠く異なる。高専生はビル、スピリッツ、清涼飲料の各事業会社

### サントリーグループ

#### インターンシップ

5日間開催。セミナーや見学会でフォロー



### 高専生採用戦略に工夫

#### ダイキン工業

#### 充実したパンフレット

卒業生の仕事ぶりや暮らしをレポート



### NTT東日本グループ

#### 地域会社も一括で採用

#### 勤務希望地に配慮



## サントリー O B が背中押す

### コンサル系や情報通信業などに就職する学生が増えている

	2008年	2018年	増減比ポイント
学術研究・専門・技術サービス業(コンサルタント系)		3.3%	
→ 市場分析や戦略立案にも活躍の場		6.1%	↑ 2.8
情報通信業	10.6	12.2	↑ 1.6
→ エンジニアなどIT人材の需要が伸びる			
電気・ガス・水道業など	5.6	7.1	↑ 1.5
→ 新エネルギー・環境で技術力が買われる			
製造業	56.0	50.0	↓ -6.0
→ 業種は多様化。スタートアップでもニーズ			

(注)高専生の産業別就職先構成比、文部科学省「学校基本調査」より

### 12位以下の就職先

12 出光興産	44(0)	52
国土交通省	44(17)	45
NTT東日本グループ※(エンジニア)	44(8)	47
15 ファナック	40(0)	19
16 NTTフィールドテクノ	38(9)	21
17 キヤノン	37(8)	38
キヤノンメディカルシステムズ	37(6)	23
19 大阪ガス	36(9)	36
20 富士電機	31(3)	24
21 中国電力	30(3)	28
22 パナソニック	29(4)	28
23 セイコーエプソン	26(4)	31
24 東レ	25(6)	13
三菱電機	25(1)	25
26 SUBARU	24(5)	32
SUBARUテクノ	24(2)	1
28 DMG森精機	23(5)	11
JR西日本	23(3)	31
NTTインフラネット	23(6)	22
ANAラインメンテナンス	23(2)	24
32 日東電工	22(9)	24
33 フジテック	21(4)	16
34 LIXIL	20(4)	16
中外製薬工業	20(9)	15
日立ビルシステム	20(2)	21
JR東日本	20(5)	15
38 ホンダ	19(2)	27
森永乳業	19(4)	23
40 東北電力	18(1)	18
メタウォーター	18(5)	16
国立印刷局	18(4)	20
NTTコムエンジニアリング	18(5)	19
東京水道サービス	18(9)	20
三井化学	18(1)	6
46 ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ	17(1)	14
四国電力	17(1)	13
雪印メグミルク	17(8)	18
三菱電機エンジニアリング	17(1)	14
JALエンジニアリング	17(4)	16

### 51位以下を19面に掲載

(注)高専機構調べ(日経が取材した数字も含む)

の工場を見学する。案内役は高専出身の社員だ。冬にはセミナーを催し、進路が固まる春にはさらに半日間の工場見学も開くなど、きめ細かくフォローアップする。「こま

で高専生採用に積極的に取り組む企業は他にない」(サントリーホールディングス・MONOZUKURI本部開発生産推進部の居原田圭課長) 11年3月11日のことだ。群馬県馬場町にある馬場町工場での見学会。始まって間もなく、東日本大震災が発生し、大きな揺れに見舞われた。見学会は中止となり、遠方からの高専生は帰りの交通手段が奪われた。そのとき工場に働く高専出身者が、保護者への連絡からホテルの予約、食料調達

からホテルの予約、食料調達社では通信回線の保守をはじめ、知識集約型産業である情報通信業も伸びた。IT人材不足の菅野流飛社長は「スタート

採用者数を大幅(約2倍)に伸ばしたのが東レ(25人、24位)だ。炭素繊維など先端素材に強みを持ち、海外事業の重要性が一層高まっている。一方で兵站(たん)が伸びてはいないと、国内の研究開発や生産技術を支えるキーマンとして、高専出身者の重要性が増している。「高専生は基礎からみっちり勉強しており、土台がしっかりしている」(東レ)。高度経済成長時代に大量採用した技術者の退職も理由の一つだという。

他にも「探究心の強さを高く評価している」(ランキングトップのJR東海)、「高い専門性を有している」(7位の中部電力)。「実習・実技を経験していることが大卒にはない魅力」(26位のSUBARU)。「高専生を積極的に採用する大手企業からはそんな評価が聞こえてくる。かつては重厚長大な製造現場を支えた高専も、産業構造の変化を敏感に感じ取っている。文部科学省「学校基本調査」(18年)によると高専卒の高専生(国立、公立、私立)のた電気・ガス・水道業も構成比が向上。再生可能エネルギーや環境関連などの成長分野で高専生の能力が買われた。高専生向けのキャリア支援サイトを運営する高専キャリア(編集委員 田中陽、小柳優太)

毎年のように高専生を採用するダイキン(57人、5位)は高専生向けにパンフレットなど充実した採用資料を用意している。業務内容はもちろん入社後の研修やキャリア形成、寮生活に至るまで、高専出身者のコメントとともに盛り込む。入社後の姿を詳細にイメージさせる狙いだ。ロボットや人工知能(AI)の技術も駆使してモノづくりの高度化を目指すダイキン。「大学の工学部出身者と違って、高専生は早くから実際にモノづくりを経験しているのが強みだ。学力のベースも高い」(人事本部の山田智彦人事企画グループ長) ある高専の就職担当教授は「企業へこんなメッセージを送る。「高専生は大卒社員と伍(ご)していることが大卒(二)しているのか、先輩の動静に極めて関心が高い」。本科生の場合、20歳で社会人となる不安を解消させることが円滑な採用につながる。全国にくまなく配置されている高専は地域との関わりも深い。NTT東日本は18年春、馬場町工場に18年卒の学生(国立、公立、私立)のた電気・ガス・水道業も構成比が向上。再生可能エネルギーや環境関連などの成長分野で高専生の能力が買われた。高専生向けのキャリア支援サイトを運営する高専キャリア(編集委員 田中陽、小柳優太)